

第2期高岡市産業振興ビジョンの全体像（計画期間 令和3年度～令和7年度）

～第2期産業振興ビジョン策定にあたっての7つ視点（注力すべきポイント）～

①事業承継による産業基盤の維持・継続

・事業承継への具体的な取り組みへの強い意識づけと行動を促すため、それぞれの事業者に適した支援施策を的確に提供する体制を構築します。

②人材育成・技術継承による人材確保

・人員不足の解消、専門人材の確保を支援し、生産性の向上と熟練技術者の育成を図ります。
・若者や女性をはじめとして、様々な人々が活躍することのできる「働く場」の創出を目指します。

③事業継続に向けた適応力の強化

・急激な経済変動にも耐えうる多様な事業展開を推進するとともに、資金繰り等の経営基盤の安定化に努めます。
・ECサイトやリモート技術の活用など、「新たな生活様式」を踏まえた販路拡大、営業力強化を図ります。
・恵まれた研究環境を活かし、大学や関係機関と連携して新素材、材料開発を促進し、地域独自の強みとなる産業を構築します。

④地域経済の持続的な発展

・起業・創業をさらに促進するため、特に女性、若者が自由に挑戦し、活躍できる環境を整えとともに、創業後の継続したサポート体制を構築します。

⑤IoT、AI等の技術革新による生産性向上

・情報化の推進を図る事業者をサポートする専門人材をマッチングし、意識改革と生産性向上を図ります。
・情報化技術を活用し、企業組織のあり方や個人の仕事の内容や仕方など「組織」と「人」の変革を進めます。

⑥企業の地方拠点強化・雇用創出を見据えた企業立地態勢の強化

・至便性の高い交通基盤やものづくり産業を中核とした産業集積を活かした効果的な企業誘致手法の検討を進めます。

⑦広域交流における拠点化

・テーマ性を活かした誘客キャンペーンや多様なストーリー提案などによる観光客の呼び込みを図ります。
・多様なニーズに対応し、様々な人の関心を引き付けるための取り組みを推進します。

支援の基本スタイル

・産業支援機関・金融機関等とのネットワークによる個々の課題への対応（事業承継、デジタル化推進等）
・事業段階に応じた切れ目のないフォロー（伴走支援）
・急激な経済変動等に柔軟に対応可能な中小企業・小規模事業者の経営基盤の確立

支援メニューの積極的発信

・支援メニューの認知度アップ
使える支援がどこにあるのか？
・成功事例の積極的な発信
支援がどのように活かされたのか？

第2期産業振興ビジョンの施策体系

1 持続可能な産業構造の構築

7つの視点①②③

(1)次代を担う人材の確保・育成の推進

- ①技術・経営マネジメントノウハウ等の人材育成に対する支援
②伝統的な技術の継承 ③人材の確保に向けた取り組みの推進

(2)事業承継の推進

- ①金融機関、産業支援機関との連携による事業承継のシーズ発掘
②関係機関と連携した事業承継に対する伴走型サポート
③事業承継支援制度（融資・設備投資助成）の継続

(3)中小企業・小規模企業の経営支援・基盤強化

- ①中小企業・小規模企業への経営支援の充実 ②各種融資制度による経営基盤の安定化

KPI(重要業績評価指標)

・県Uターン就職率
R1年度：58.4%
⇒ R7年度：60%
・連携体制による事業承継件数（累計）
5件

2 地域産業の競争力強化

7つの視点②③④⑤

(1)ものづくりの技術等を活かした新分野・新事業の展開支援

- ①ものづくり技術等の高度化、製品の高付加価値化
②技術とデザインの融合による新製品開発

(2)地場産業の魅力発信による販路拡大・付加価値向上

- ①国内外への高岡の産業の魅力発信
②消費者ニーズを踏まえ多様な手法を活用した販路開拓支援

(3)地域産業におけるデジタル化の実現に向けた取り組みの推進

- ①デジタル化に対する普及啓発支援
②デジタル化に向けた技術導入に係る取り組み支援
③デジタル化による多様な働き方に対する支援

(4)地域資源を活かした地場産業（農業を含む。）の競争力強化

- ①伝統産業分野における市場ニーズを踏まえた新製品開発・販路拡大 ②伝統産業の効果的な魅力発信 ③バランスの取れた農作物生産の推進 ④農畜水産品の高岡産ブランドの開発・育成の支援

KPI(重要業績評価指標)

・企業訪問における新商品開発・販路開拓相談件数
H30年度：100件
⇒ R7年度：118件
・伝統産業生産額の維持
R1年度：10,716百万円
⇒ R7年度：10,716百万円

3 産学官金の連携強化による新事業創出と創業

7つの視点②③④⑤

(1)創業シーズの発掘強化と創業者の事業段階に応じた支援

- ①創業シーズの発掘強化 ②創業者の事業段階に応じた支援
③まちなかでの開発支援等による商業活性化支援

(2)事業連携による新事業創出・イノベーションの推進

- ①高機能素材等の研究開発支援 ②産学官金連携による企業支援
③デジタル化による多様な働き方に対する支援

KPI(重要業績評価指標)

・創業件数（累計）
600件
・中心市街地・観光地における開業件数（年間）
10件

4 産業基盤の整備・企業誘致の強化

7つの視点⑥

(1)新たな企業団地の整備

- ①企業立地ニーズに対応する具体的な産業団地の整備手法検討

(2)企業活動を活性化させる環境整備

- ①既存企業の事業活動を促進する環境整備
②市内の産業団地等の企業集積エリアにおける環境整備

(3)企業誘致・立地の推進

- ①産業集積を活かした企業誘致活動 ②地方における企業等の拠点強化を見据えた立地促進体制の構築
③ワンストップによる受入・相談体制の充実 ④空き工場等の活用推進

KPI(重要業績評価指標)

・市内企業の設備投資件数（累計）
50件

5 広域交流の拠点化の推進

7つの視点⑦

(1)広域観光の推進

- ①テーマ性を活かした広域周遊促進 ②二次交通の充実
③教育旅行誘致、関西圏誘客強化

(2)交通基盤を活用した物流の拠点化推進

- ①伏木富山港を活用した物流の促進
②物流拠点整備に対する支援の推進

KPI(重要業績評価指標)

・観光客入込数（暦年）
2025年までに396万人
・外国人宿泊数
H30年：10,511人 ⇒ R7年：14,700人

産業基盤を担う「ひとづくり」の強化・次代に事業を「つなぐ力」の強化を図ることで『地域産業の強靱化』の実現を目指す

目指す「まちの将来像」

「ひと」の力を紡ぎ「業」を次代につなぐまち
～産業の承継・革新・創出～